

1. 科目名(単位数)	日本語学I(音声・音韻) (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	今井 新悟		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	学習者の発音を指導するためには、日本語の音声についての知識が必要である。本講座では、日本語の音声についての一般的な概要を行い、日本語の音声がどのように産出されているのかについて学ぶ。また、演習では実際に発音し、日本語教育におけるモデルとなる音声について理解する。		
8. 学習目標	1) 日本語の音声の仕組みを理解する。 2) 日本語学習者の母語について、苦手とする音を知る。 3) 日本語の音声をコントロールし、産出できるようになる。 4) 日本語学習者の発音上の問題点を理論的に指摘できる。 5) 日本語学習者の発音を矯正できる。		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	・事前学習で、教科書の指定箇所を読む。さらに指定のビデオがある場合は視聴する。 ・教科書と配布プリントを読む。 ・事後学習で、クイズに答える。全問正答するまで繰り返す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】今井新悟『いちばんやさしい日本語教育入門』アスク出版,2018. 【参考書】池田悠子『日本語教師をめざす人のためのスモールステップで学ぶ音声』スリーエーネットワーク,2024. 【教材】プリント(オンライン)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語の音声の仕組みを理解し、説明できるか。 2. 日本語学習者の発音をどう矯正したらよいか説明できるか。 ○評定の方法 授業への出席や日常の受講態度、課題・発表、期末試験等を総合して評価する。 1 授業への出席・態度 総合点の30% 2 課題・発表 総合点の50% 3 期末試験 総合点の20% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	日本語の「音」について、客観的に考察します。発音はできても、それをどうやって発音しているのかを自分で認識することは難しいです。それを理解できるようになりましょう。そして、学習者の発音の誤りを治してあげられるようになりましょう。		
13. オフィスアワー	第1回の授業で説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 1. 音と音声	事前学習	pp.8-9を読む。動画「インコの昔話」を見て、このインコがどうやって話しているかを考える。
		事後学習	プリントで復習する。
第2回	2. 音声器官	事前学習	pp.10-16を読む。
		事後学習	プリントで復習する。
第3回	3. 日本語の音声	事前学習	pp.16-20を読んで、発音してみる。
		事後学習	P17の発音記号を見て発音できるようになる。
第4回	母音、子音の復習	事前学習	母音と子音の調音点・調音法を整理する。
		事後学習	母音と子音の調音点・調音法を覚える。
第5回	日本語教育能力検定試験に挑戦	事前学習	母音と子音の調音点・調音法を復習する。
		事後学習	試験問題をクリアするまで繰り返す。
第6回	4. 日本語のリズム	事前学習	pp.20-21を読む
		事後学習	拍を正しく言えるための練習問題を作り、正しく言えるようになるまで練習する。
第7回	5. アクセント	事前学習	pp.22-32を読む。
		事後学習	教科書(pp.22-32)にある語を正しいアクセントで発音できるようになる。
第8回	6. イントネーション	事前学習	pp.32-35を読む。
		事後学習	OJADが使えるようになる。
第9回	発音、アクセント、イントネーション重視のスピーチの練習	事前学習	スピーチの原稿を書く。
		事後学習	OJADで確認しながら、発音、アクセント、イントネーションに気を付けてスピーチの練習をする。
第10回	確認問題と「考えよう」	事前学習	pp.36-38を読んで考える。
		事後学習	

第 1 1 回	発音練習	事前学習	自分の苦手な発音を考えて、練習する。
		事後学習	
第 1 2 回	発音練習	事前学習	自分の苦手な拍、アクセントを考えて、練習する。
		事後学習	
第 1 3 回	学習者の間違い	事前学習	自分の母語（あるいは外国語）話者に特徴的な間違いについて考える。
		事後学習	
第 1 4 回	発音指導 1	事前学習	どうやったら治せるか、考える。
		事後学習	
第 1 5 回	テスト前の復習・質疑応答	事前学習	教科書を復習する。
		事後学習	プリントで復習する。
期末試験			